

わんにゃん広場

No.93
2019年7月1日
(一財)滋賀県
動物保護管理協会
☎748-75-6522

動物愛護のつどい開催

令和元年6月2日(日)滋賀県動物保護管理センターで令和元年動物愛護のつどいを開催しました。当日は曇り空で過ごしやすいい気温の中、二百名の家族連れや愛犬連れで賑わいました。

【犬の里帰り交流会】

今回は平成26年度と平成30年度に譲渡した犬が対象となり、13組の参加がありました。

柴山理事長の挨拶の後、参加された飼い主の皆さん全員に飼い主のお名前、愛犬の呼称、呼名の由来、愛犬のチャームポイントの4つに絞って自己紹介をしていただきました。

愛犬の呼称には、譲り受けた当時の季節や家庭内の状況が反映されているものや、センターでの呼称をそのまま使っていたり、センターでの呼称を少しもじったりしていたりと個性を感じることができました。



【猫の里帰り交流会】

午後からは猫の里帰り交流会を行いました。猫は外出が苦手な場合が多く、猫を同伴しての参加は4組で、飼い主のみの参加は12名でした。

日頃、猫を飼っていて困っていることなどについて飼い主同士、意見交換を行ったり、飼い方について獣医師でもある柴山理事長にアドバイスをいただいたりと猫の参加は少なくとも有意義な交流会になったのではないのでしょうか。

【犬の気持ちになろう・ワンワンおいでレース】

日本動物病院協会認定家庭犬しつけインストラクターの菊川智子先生に「犬の気持ちになろう」と題して、散歩中にリードから伝わる大切なことや愛犬のボディランゲージを読み取ることで、愛犬に対してボディランゲージで伝えることなど、実践を交えてお話いただきました。また、ネット上で仕切られたコースを使って



ワンワンおいでレースのひとつ

「わんわんおいでレース」も行なっていたいただき、飼い主と愛犬が楽しい時間を過ごすことができました。

【手作りコーナー】

迷子札コーナーでは犬や猫の迷子防止に役立つネームプレートを各々の犬・猫用に作っていただき、沢山の来場者に喜んで持ち帰っていただきました。また、ペーパークラフトのコーナーでは好きな動物をハサミやのりを使って作り楽しんでいただきました。



【犬のお手入れコーナー】

滋賀県動物愛護推進員の松若菊美さんに午前と午後の2回、飼い主と同伴で来場した愛犬のお手入れをしていただきました。



ポイントを説明しながらのお手入れを、そばにいた飼い主さんと家族が熱心に耳を傾けていました。

【その他のコーナー】

クイズラリー・スタンプラリーではちびっ子だけでなく大人の方も楽しんでいただきました。滋賀県愛玩動物協会のコーナーではペットのマナーを考えるためのパネル展示やビラの配布などがありました。

平成三十年度動物慰霊祭を開催しました

平成31年3月20日午後1時から滋賀県動物保護管理センター内にある慰霊碑前において平成30年度動物慰霊祭を開催しました。



5月に元号が平成から令和に変わりましたが平成を振り返ってみると平成11年に動物の保護及び管理に関する法律の名称が変更され同時に動物取扱業の規制や飼い主責任の徹底、罰則の強化など大幅な改正が行われました。その後、2度の改正が行なわれ、平成24年の改正では終生飼養が明文化され終生飼養の原則に反している場合、窓口に持ち込まれた犬猫の引取りが拒否できるようになると同時に引き取った犬猫の返還・譲渡が努力義務として設けられました。

法改正や飼い主意識の向上などにより、保護される犬猫は年々減少し、譲渡する犬猫は増加していますが、迷子になり飼い主の元に帰ることができなかった犬や猫、窓口に持ち込まれる犬猫が無くなった訳ではありません。迷子になった犬猫の全てが飼い主の元に帰り、持ち込まれる犬猫が無くなることを願ひ、この動物慰霊祭がやむを得ず処分となった犬猫の慰霊の為ではなく、癒やしや楽しみを私たちに与えてくれた動物達に感謝するための行事なることを願っています。

TOMONI講演会
〜つひの子が幸せな日々を〜

が開催されました

令和元年5月26日(日) 草津市市民交流プラザでTOMONI講演会〜つひの子が幸せならばそれでいい〜(主催TOMONI向上委員会・協賛あさひ動物病院・後援(一社) 滋賀県獣医師会、(一財) 滋賀県動物保護管理協会、びわこ放送、京都新聞) が開催されました。



講師には獣医師で動物行動学のスペシャリストである入交眞美先生が招かれ、犬と猫を飼う上で非常に役立つお話を行動学に基づいて講演されました。

前半は犬について講演され、快適に暮らすためには体罰や圧力で威嚇を保持するのではなく正しい方向に導くリーダーになることやボディランゲージや行動などによって犬の気持ちを知ることが大切であること、また、後半の猫については「猫は社会をつくらない」「猫は夜行性」「なわばりを持つ」などの習性は全て間違いであることや猫のトイレのこだわりや猫が好むトイレとはどういったものなのかなど自身の愛犬、愛猫の例を挙げて説明され84名の参加者は熱心に耳を傾けていました。

犬・猫の迷子に備えましょう！

暑い時期が近づくると突然の雷雨や花火大会などの音に驚いて逃げてしまうペットが増えます。万が一の迷子に備えておきましょう。

【迷子札の装着】

愛犬・愛猫に迷子札はつけていますか？

狂犬病予防法では犬の首輪に鑑札と狂犬病注射済票を装着することが義務づけられています。これらには番号や市町名が表示されているだけで一般の方が保護した場合は、この誰の犬であるかを知ることができません。表示されている市町に連絡し、登録されている連絡先に市町の担当から飼い主に保護されていることを伝えることとなります。迷子札に連絡先が表示されていれば、保護した方から直接飼い主に連絡ができるため、連絡さえつけば直ぐに飼い主の元に戻ることが出来ます。

【マイクロチップの登録】

最近、迷子で保護された犬にマイクロチップが挿入されていることが増えてきていますが、装着されているだけで所定の管理機関への登録がされていないことがあります。ペットショップやブリーダーなどで購入時にマイクロチップを装着してあるにもかかわらず飼い主が登録していないことが考えられ、連絡先が記入されていない名札を着けている事と同じになっているようです。

マイクロチップが挿入されている犬・猫を飼っている飼い主さんは今一度登録が済んでいるかを確認し、登録が済んでいない場合は速やかに登録手続きをしましょう。

マイクロチップ装着と登録

マイクロチップの装着

動物病院等で獣医師が専用の注射器で犬・猫の首の後ろの皮下に装着

登録申込書の作成

動物病院や動物取扱店等から「どうぶつIDデータ登録申込書」に犬・猫のIDデータを入力

申込書と振込用紙の送付

登録完了ハガキが届く

郵便局で登録手数料1000円を振り込み、申込書に添付してAIPO事務局へ送付

犬・猫の正しい飼い方街頭啓発

実施しました



今年度も各地域の狂犬病予防集注会場で犬猫の正しい飼い方を啓発するビラ等の配布活動を実施しました。今年度は37会場で合計411部を配布しました。

令和元年度長寿犬優良飼養者

表彰者(自薦)を募集します

人と動物が共生する豊かな地域づくりをめざし、犬および猫の適正飼養ならびに飼養者モラルの向上および終生飼養を広く県民に普及啓発するとともに、動物愛護に関する意識ならびに知識の向上を資するため、長寿犬飼養者表彰を行います。

【自薦による候補者の要件】

- ・ 滋賀県内で登録されている犬である。
- ・ 犬の登録期間および狂犬病予防接種期間が連続16年以上(転入前の期間も含む)である。
- ・ 過去に咬傷事故や法律・条例違反がない飼養者である。
- ・ 一貫して同一飼養者である。
- ・ 適切な飼養を実践されている模範的な飼養者である。
- ・ 過去にこの表彰を受けていない飼養者である。

2019ししが動物フェスティバル開催決定!

今年度も動物愛護週間行事「ししが動物フェスティバル」を開催します。

【日時】令和元年9月22日(日)

【場所】竜王町岡屋3282

竜王町総合運動公園ドラゴンハット

※内容については詳細が決定次第お知らせします。

命をつなぐジャズコンサート

JAZZ FOR DOG & CAT 開催します

「命をつなぐジャズコンサート」JAZZ FOR DOG & CAT」を開催します。

【日時】令和元年7月7日(日) 13:30〜16:00

【場所】滋賀県動物保護管理センター

【その他】入場無料、雨天決行

【主催】

JAZZ FOR DOG & CAT

実行委員会

【共催】

滋賀県動物保護管理センター

(一財) 滋賀県動物保護管理協会

代表者からのメッセージ

昨年は、台風24号の接近で中止となりましたが、今年は七夕に開催される第6回ジャズFOR DOG&キャットチャリティコンサートに多くの方に来ていただけて、センターの犬や猫の状況を知っていただければと考えています。

七夕といえば、織姫と彦星、二人が年に一度だけ会うことをゆるされるお話をお話の浮かべますが、近年は人とペットがいつも生活を共にし、自然災害にともなう非難においてもペットとの同行避難を前提とした対策が望まれる時代です。

私たちはペットとの暮らしを通じて、楽しみ・癒され、そして命の尊さを学んでいます。しかし、一方で人間の都合や身勝手により多くの犬や猫の命が奪われている悲しい現実があります。

動物と家族同然に暮らしている方も、そうでない方も、私たち人間にとって特に親しい存在である犬や猫の命と向き合い、実情に少しでも興味を持っていただき、動物愛護について考えてくださることを、そして、一頭でも不幸な犬と猫が減ることを切に願っています。

(一財) 滋賀県動物保護管理協会

理事長 柴山隆史